

## Study Abroad 2015

### 国際交流学科の海外研修

#### 2月はポーランド

2015年度、国際交流学科は4つの海外短期プログラムを実施します。これまでに、香港、カリフォルニア、台湾でのプログラムが終了しました。2月にはポーランドで、現地の児童・生徒と交流し、中央ヨーロッパの文化と社会、歴史も学びます。同じく2月、城西国際大学が「初級フランス語研修コース」が実施することになり、フランス語を履修した1年次生も申し込みができます(なお、実施の際は、国際情勢を慎重に考慮します)。

#### 国際交流研修(海外)ー海外だからできる有意義な体験

国際交流学科1年 吉澤 志保

私は8月の下旬から10日間、カリフォルニア大学リバーサイド校での研修に参加しました。これはJASSOの助成を受けた、「日本語と日本文化をアメリカで伝えるー自文化リテラシーとコミュニケーション力」です。

私たちは研修期間中5つの学校を訪問し、生徒たちに日本語や日本の文化を伝えたり、耳の不自由な子供達の通う学校では英語の手話を教え、日本語の手話を教えたりしました。

英語の授業ではプレゼンをする授業や自分の意見を述べる授業が多くあり、日本の授業よりも自由に意見が言える雰囲気でした。

そして初めのホームステイでは、毎日大学まで送り迎えをしてもらい、自分の子供であるかのように可愛がってくれ、自分の中で忘れられない思い出になりました。

今回初めての海外研修に参加しましたが、海外だからこそのわかることや文化や習慣を習慣を直接学ぶことができ、本当に



#### 台湾で日本語教育インターンシップ

今回参加した日本語教育のインターンシップでは、これまでの海外留学や研修にはなかった大きな達成感と素晴らしい出会いがありました。

最初の淡江大学の授業では、2週間みんな準備してきたことが自信につながり、やる気のある学生達と雰囲気の良い授業を作ることができました。そして台北城市科技大学では、さまざまなレベルの学生に臨機応変に対応することを学びました。

国立高雄餐旅大学は最後の研修地で、そ

れまでのまとめという意識を持って臨みました。その結果、自分でも納得の行く授業をすることができたことがとても良い思い出になりました。

ホームステイのホストファミリーは、言語も文化も違うなかでもとても親切に、暖かく迎えて下さいました。この研修はたくさんの素敵な出会いと体験にあふれていました。この経験を通して今後の自分のキャリアに活かしていきたいです。

国際交流学科3年 山口 萌



## 北京と西安で日中交流

国際交流学科1年 西野 友貴

9月に、日本学生支援機構(JASSO)の助成を受けた「東アジア次世代交流プログラム」(本学国際文化学科主催)に参加しました。

10日間の研修を経て、中国に対する考え方が今までと変わったことを感じています。日本で知られている大気汚染や反日感情などは、実際に行ってみてほとんど感じませんでした。日本が好きで日本語を勉強してくれていた学生が多かったので、日本人としてとても嬉しく感じました。

訪問した北京・西安外国語大学では、日常会話レベルの中国語を学び、こちらから

は日本文化を紹介しました。私たちは事前準備し、無事「クールジャパン」や武道について紹介することができました。

中国人学生は私たちのプレゼンテーションの中に出てくる分からない日本語を、辞書を片手に必死に聞いていて、日本文化に対する熱意が見て取れました。

今回特に、国を知るためにはその国に行き、見る・聞くことでしか学べないことがあるということ、身をもって感じました。今後の長期・短期留学を考える良い体験となりました。



## ベトナムで学生との交流やボランティアに参加

国際交流学科1年 渡部 瑠夏

私たちはJASSOから助成を受けた研修「国際ボランティアから学ぶベトナム社会とその変遷」に参加し、姉妹大学の訪問と現地でのボランティア活動などを行いました。

ホーチミン技術師範大学と工業大学を訪問した際、お互いの国の文化紹介をしたり、言語を教え合ったりしました。また、ゴイサオ高校では日本語の授業を体験したり、児童福祉施設と盲学校で子どもたちと遊ぶボランティア活動をおこないました。

また都会の子どもたちと農村へ行き、その中で暮らしたり知恵を学んだりしました。なかでも、農村での活動は私たちにとって未

知のことばかりで、貴重な体験となりました。

今、ベトナムでも農村から都会に移る人が増えているそうです。それを少しでも防ぐために、農村へ都会の子どもたちを連れていき、そこでの暮らしを経験させています。そうすることで、農村の良さをみんなに伝えているのです。

それを教わって、私もそんな活動を故郷の福島県でもやってみたいと考えるようになり、また研修に参加する前から持っていた国際ボランティアに対する興味をさらに深めることができました。

またいつかベトナムへ行って今回の研修のような活動をしたいと考えています。



## 2016年度フランス・ブルゴーニュ

### 国際観光文化研修

研修では、ブルゴーニュ地方の観光およびビジネスの世界展開、地域に対する大学の役割および地方政府の文化政策、食文化・生活文化を活用した地域振興を学ぶことを目的とします。準備講座として、French Conversation またはフランス語IA・IBの登録・履修が必要です。



◇研修地 ブルゴーニュ大学(ディジョン)、パリ

◇日程 2016年5月

10日間前後(予定)

◇奨学金 選考の上、城西国際大学から費用の一部を奨学金として支給する予定

## JEAP留学・交換留学—欧米・アジアの姉妹大学に長期留学

JEAPとは、本学独自の留学制度 Josai (International) Education Abroad Program の略称で、世界各地の姉妹大学に学生を派遣する制度のことです。期間は4か月から1年程度(派遣先によって異なります)、留年せず4年間で卒業できるのも特徴です。交換留学では、本学の姉妹校に派遣されますが、原則として留学先の授業料は免除されます。

国際交流学科は毎年、多数の学生を派遣しています。主な派遣先は、カリフォルニア大学リバーサイド校(アメリカ)、カモーン・カレッジ(カナダ)、セントメアリーズ大学(カナダ)、バルセロナ自治大学(スペイン)、ブダペスト商科大学(ハンガリー)、ワルシャワ大学(ポーランド)、ケルン大学(ドイツ)、リール・カソリック大学(フランス)、国立高雄餐旅大学(台湾)など、アメリカ・ヨーロッパ・アジアに広がっています。

短期の研修や海外インターンシップと長期留学を合わせれば、4年間でいくつかの地域を訪れることができます。

### カナダ留学で国際社会を体験

国際交流学科3年 渡邊 廉太郎

私は昨年8月から今年の4月まで、8ヶ月間、カナダのブリティッシュコロンビア州、ビクトリアという街にあるカモーン・カレッジに交換留学生として生活していました。この自然豊かな街で、ホストファミリーと生活し、主に英語を勉強しました。

カナダはさまざまな国と地域から人々が集まり、1つのコミュニティができていて、文化や言語も多種多様でした。その点が日本とは大きく違い、国際社会を肌で体験できたと思います。

学校でのクラスメイトや友達も、世界中

から集まってきた学生で、毎日が刺激的でした。

勉強のほかにも現地の日本語学校でアシスタントとしてボランティアをし、そこに住む日本人の子供たちとも触れ合う機会がありました。

語学力の向上、国際感覚を養うといった点で、カナダを留学先に選んだことは間違いなかったと帰国してから実感しています。



### 柔道で素晴らしい出会い—UCRに留学

国際交流学科3年 幸地 顕成

私は昨年の9月から1年間アメリカのカリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)に留学していました。この1年間は私にとって挑戦と成長の1年でした。

私は最初、語学留学のつもりで留学しました。しかし、英語だけを学んでも渡米した意味がないと思い、習った英語を活かし何か面白い活動をしたと思いました。そんなとき、出会った活動がUCRの柔道部でした。ある日、柔道をしていらっしゃる日本人の方にお会いしたことがきっかけとなり、選手兼指導者として入部しました。

初めて柔道部を訪れたとき、部員の人

数が多く、喜びと驚きでいっぱいになりました。部員は皆、技や練習だけでなく日本の礼儀や目上の人を敬う姿勢をきちんとこなしていました。そんな姿を見て私自身の礼儀や日本人としてのあり方を見直すきっかけにもなりました。

その後、ロサンゼルスで行われた国際柔道大会に出場し、準優勝しました。そのときに、ある子供柔道クラブに指導者として招かれもしました。こうして柔道を通して、多くの方との素晴らしい出会いがありました。私はこの出会いを一生の宝にしていきたいと思います。



## ケルン大学に交換留学

国際交流学科3年 苦米地 郁奈

私は去年の8月から3月まで6ヶ月ドイツのケルン大学に留学をしました。ケルンは国際的な都市で、どこにいても外国語が聞こえてきました。半年という短い期間ですが、海外の中の日本をみるよい機会となりました。

ケルンではドイツ語の授業などのほかに、ボランティアなどに参加しました。私は現在日本語教員のコースを副専攻としていて、ケルンでは日本語学科があり、そこで授業を見学させてもらいました。またボランティアとしてドイツ日本語の会話のボランティアに参加をしました。社会人、日本の企業で働いている人、学生などさま

ざまでした。留学中はさまざまな出会いがあり海外に対する関わり方など自分の視野を広げることができました



## バルセロナ自治大学に交換留学一

国際交流学科3年 重田 拓也

昨年秋、不安と焦りの中で私の留学生活がスタートしました。しかし、最初はスペイン語で意志疎通できなくて大変でしたが、日本語を勉強している皆さんと言葉を教えあったり、一緒に観光したりしているうちに、徐々に会話ができるようになりました。また日本の文化を広めるためのイベントにボランティアに参加し、貴重な体験をしました。

バルセロナは有名なガウディの建造物も多く、住人は陽気で明るく住みやすい町でした。語学はもちろん、スペインの歴史や文化、建造物に興味があったのでいい留学生活を送ることができました。これからもスペイン語の勉強を続けていき、また機会があったらスペインに行きたいと思っています。



## 英語力とコミュニケーション力で 大手航空会社・ホテルに内定

今年度も4年生が国内大手航空会社グラウンドスタッフや都内の国際的なホテルに内定しています。

国際交流学科は昨年度まで、ANAや日本航空の系列企業、大手旅行会社へ卒業生を送り出してきました。また、千葉県内や都内の国際的なホテルに就職した

卒業生も数多くいます。

また、中学校や高等学校教員、日本語教員、県内の銀行や各地の農協などさまざまな職業に就く学生が多いのも「国際系」「人文系」ならではの特徴です。

## ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート・インターンシップ

本学では、カリフォルニア大学リバーサイド校とウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートと提携し、フロリダのウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートでインターンシップを実施しています。詳しくは大学パンフレット・ホームページをご覧ください。

国際交流学科 Newsletter

城西国際大学 国際人文学部 国際交流学科

〒283-8555 千葉県東金市求名1番地

Tel 0475-55-8800 (代)

URL [http:// www.jiu.ac.jp/kouryuu](http://www.jiu.ac.jp/kouryuu)

© 2015 Josai International University